

史料群番号 80

史料群名	むらおかとくいち 村岡徳一家文書	旧所蔵者	村岡徳一
探訪時住所	山口県大津郡宇津賀村津黄		
現在の住所	山口県長門市油谷津黄		
探訪年月	昭和27（1952）年8月		
史料の年代	明治43（1911）年～昭和15（1940）年	史料の総点数	17点
年代の内訳	近代 17点	筆写稿本	なし
既刊行目録	なし		

収蔵にいたる経緯

探訪書類に、昭和27年8月に寄贈されたことが記されている。村岡徳一は探訪当時、津黄漁業組合理事を務めた。内容はほとんど漁業組合運営資料で、村岡家の家文書はほとんどみられない。実際は、「津黄漁業組合文書」とされるべき史料群といえよう。

史料群の概要

探訪地の津黄（つお）は近世から明治22年まで津黄村、その後宇津賀（うつか）村、昭和29年から油谷（ゆや）町、平成17年に長門市となった。

近世の津黄村は日本海に面した半農半漁の村で、近世初期より捕鯨の基地となった。近世の津黄村には津黄浦と立石浦の二つの浦があった。本史料群は、津黄浦を基盤にした津黄浦漁業組合の漁業免許等に関わる史料群で、鰹大謀網漁に関するものが大半を占める。津黄浦漁業組合は昭和5年には津黄浦漁業協同組合と成ったと考えられるが、その際に村岡徳一氏が理事を務めている。

